

| | | | | | |
|-----|-----|-----------|-----------|----------|-------|
| 分類① | 分類② | 授業コード | 教員所属 | 教員コード | 教員名 |
| H | H02 | H02B00601 | 心理学科 (H3) | Z0000556 | 岡村 達也 |

| | | | | | |
|--------|-------------------------|------------------|--------------------------------|----|---|
| 科目名 | 臨床心理学概論 | 学年 | 1 | 単位 | 2 |
| サブタイトル | 臨床心理学の「成り立ち」と「代表的な基礎理論」 | 研究室 | 12433 | | |
| 教員名 | 岡村 達也 | メールアドレス(その他連絡方法) | okamura@koshigaya.bunkyo.ac.jp | | |

| | |
|------------|---|
| 授業概要 | <p>本科目は「公認心理師のカリキュラム」の「大学における必要な科目」の「③臨床心理学概論」に該当します。本科目に「含まれる事項」は「1. 臨床心理学の成り立ち」「2. 臨床心理学の代表的な理論」の2つと規定されています。</p> <p>本授業では、「病理論」「アセスメント論」「治療論」の3つを“代表的な理論”とする旧来型の臨床心理学概論ではなく、それぞれ「病理論」「アセスメント論」「治療論」を含む“臨床心理学の代表的な基礎理論”に沿って授業を行います(固有の病理論(異常心理学)は「?精神疾患とその治療」、アセスメント論は「④心理的アセスメント」、治療は「⑤心理学的支援法」に対応し、科目が設置されます)。</p> <p>旧来型の臨床心理学概論との対応を図りながら授業を行いますので、“市民的常識としての臨床心理学”の授業にもなります。</p> |
| 到達目標 | <p>(1) 臨床心理学の体系について概説できる。</p> <p>(2) 臨床心理学の成り立ちについて概説できる。</p> <p>(3) 臨床心理学の代表的な基礎理論について概説できる。</p> |
| 授業計画 | <p>第1回:オリエンテーション</p> <p>第2回:I 臨床心理学とは何か</p> <p>1. 臨床心理学の定義・理念・体系</p> <p>第3回: 2. 世界の臨床心理学</p> <p>第4回: 3. 日本の臨床心理学</p> <p>第5回:II 臨床心理学の基礎理論</p> <p>4. 臨床心理学理論の展開</p> <p>第6回: 5. 精神分析的アプローチ</p> <p>第7回: 6. 行動論・認知論的アプローチ</p> <p>第8回: 7. ヒューマニスティック・アプローチ</p> <p>第9回: 8. システミック・アプローチ(心理学的支援法の基礎理論としての「夫婦・家族療法」を含む)</p> <p>第10回: 9. 統合的アプローチ</p> <p>第11回:III 心理学的支援法の基礎理論</p> <p>10. 個人心理療法</p> <p>第12回: 11. グループ・アプローチ</p> <p>第13回: 12. コミュニティ・アプローチ</p> <p>第14回:まとめ:確認テスト</p> <p>第15回:まとめ:確認テスト解説</p> |
| 授業外での学修 | <p>(1) ほほ毎回、配付資料ないし教科書対応項の復習課題があります。詳細は授業時に指示します。</p> <p>(2) 課題図書に関するレポートがあります。詳細は授業時に指示します。</p> |
| 評価方法 | <p>(1) 授業内容の理解度に関するテスト(80%)</p> <p>(2) 課題図書に関するレポート(20%)</p> |
| 評価基準 | <p>S:授業内容をよく理解しており、かつ、レポートにオリジナリティがある。</p> <p>A:授業内容をよく理解しているが、レポートにオリジナリティがない。</p> <p>B:授業内容の理解がほぼほぼだが、レポートにオリジナリティがある。</p> <p>C:授業内容の理解がほぼほぼで、かつ、レポートにオリジナリティがない。</p> <p>D:授業内容をほとんど理解していない(レポートのオリジナリティの評価は行いません)。</p> |
| テキスト | <p>・野島 一彦・岡村 達也(編)(2018). 臨床心理学概論 遠見書房(税込2,592円)ISBN-10: 4866160535</p> <p>第1回授業時、第2回授業時に現金引換(2,100円)で頒布します。必携です。</p> <p>・Norcross, J. C., Vandenbos, G. R., & Freedheim, D. K. (Eds.) (2016). APA handbook of clinical Psychology (Vols. 1-5). American Psychological</p> |
| 参考書 | <p>・原田 隆之(2015). 心理職のためのエビデンス・ベースト・プラクティス 金剛出版</p> <p>・日本心理研修センター(監修)(2019). 公認心理師現任者講習会テキスト[2019年版] 金剛出版</p> <p>・丹野 義彦・石塚 琢磨・毛利 伊吹・佐々木 淳・杉山 明子(2015). 臨床心理学 有斐閣</p> <p>・渡辺 俊之・小森 康永(2014). バイオサイコソーシャルアプローチ 金剛出版</p> |
| 受講者へのメッセージ | <p>(1)「授業中は静粛を保つこととし、違反があった場合は退室する」を履修上の契約とします。</p> <p>契約違反(=退室しない)の場合、単位を認定しません。</p> <p>(2)「心理学研究法」「心理学統計法I」ないし相当科目の既習ないし併習が望まれます。</p> <p>(3) 学習効率や適正評価のため、さまざまな変更がありえます。</p> <p>・聴講生・科目等履修生の受講可否:可。</p> |

| | | | | | |
|-----|-----|-----------|-------------|----------|-------|
| 分類① | 分類② | 授業コード | 教員所属 | 教員コード | 教員名 |
| H | H02 | H02B00602 | 臨床心理学科 (H2) | Z0001030 | 鍛冶 美幸 |

| | | | | | |
|--------|--------------------|------------------|------------|----|---|
| 科目名 | 臨床心理学概論 | 学年 | 1 | 単位 | 2 |
| サブタイトル | 臨床心理学の成り立ちと、代表的な理論 | 研究室 | | | |
| 教員名 | 鍛冶 美幸 | メールアドレス(その他連絡方法) | 授業時にお伝えします | | |

| | |
|------------|--|
| 授業概要 | 臨床心理学は、心理的な問題に苦しむ方への支援を目的に発展してきた心理学の一分野です。その発展の過程では様々な理論や技法が生み出され、治療の対象も多岐にわたるようになりました。本講義では、そうした臨床心理学の歴史を概観し、さらに代表的な理論や技法を概説します。 本科目は「公認心理師のカリキュラム」のうち、「大学における必要な科目」の「臨床心理学概論」に対応するものです。本科目に含まれる事項は、「①臨床心理学の成り立ち」と「②臨床心理学の代表的な理論」です。 |
| 到達目標 | 1. 臨床心理学の基本的理念と体系について理解し、概説できる。 2. 臨床心理学の成立と発展の過程を概説できる。 3. 臨床心理学の代表的な理論と技法について理解し、概説できる。 |
| 授業計画 | 第1回:オリエンテーション 第2回:臨床心理学の理念と体系 第3回:臨床心理学の成り立ち①:心理学から臨床心理学へ 第4回:臨床心理学の成り立ち②:日本での歩み 第5回:心理療法の構造とプロセス 第6回:臨床心理学の代表的な理論①:精神分析 第7回:臨床心理学の代表的な理論②:分析心理学 第8回:臨床心理学の代表的な理論③:人間性心理学 第9回:臨床心理学の代表的な理論④:認知行動療法 第10回:臨床心理学の代表的な理論⑤:家族療法とシステムズアプローチ 第11回:そのほかの代表的な理論と技法:集団療法、芸術療法 第12回:そのほかの代表的な理論と技法:ゲシュタルト療法、トラウマ治療 第13回:そのほかの代表的な理論と技法:日本で発展した理論と技法 第14回:臨床心理学の展開:コミュニティアプローチ、チームアプローチ 第15回:まとめ:テスト(終了後、解説) |
| 授業外での学修 | 授業準備として、適宜資料を配布します。また、授業時には復習用の課題を指示します。 |
| 評価方法 | 授業内での小テストと期末テスト(80%)、レポート(20%) |
| 評価基準 | S:試験成績、レポートとも優れている。 A:試験成績が優れており、レポート内容が適切である。 B:試験成績は一定水準に達しており、レポート内容が適切である。 C:試験成績、レポート内容とも十分とは言えないが、最低限の理解ができている。 D:試験成績、レポート内容とも劣っており、授業内容をほとんど理解できていない。 |
| テキスト | 授業時に資料を配布する。 |
| 参考書 | 必要に応じて授業時に紹介する。 |
| 受講者へのメッセージ | 公認心理師資格を受験するための必須科目ですが、これから臨床心理学を学んでいくための入り口として、様々な理論や技法に広く触れることができる授業です。 |

| 分類① | 分類② | 授業コード | 教員所属 | 教員コード | 教員名 |
|-----|-----|-----------|---------------|----------|-------|
| L | L01 | L01C05501 | 日本語日本文学科 (L1) | Z5003896 | 青木 祐子 |

| | | | | | |
|--------|--------------|------------------|-------------|----|---|
| 科目名 | 演劇論 1 | 学年 | 2 | 単位 | 2 |
| サブタイトル | 鬼女の芸能 | 研究室 | | | |
| 教員名 | 青木 祐子 | メールアドレス(その他連絡方法) | 最初の授業で指示する。 | | |

| | |
|------------|--|
| 授業概要 | 能とお伽草子の関係を紐解くことは、能の成立と受容を考える上で重要な課題である。能とお伽草子の関係に注目し、能が演劇としてどのような効果を発揮しているかについて考察を深めながら、能および演劇全般に対する分析的理解に必要な視野と能力を身につけることを目標とする。 |
| 到達目標 | 能をはじめとした古典芸能に対して、鑑賞に必要な基礎知識を身に付け、分析的理解ができるようになる。 |
| 授業計画 | 第1回: ガイダンス 第2回: 能とお伽草子(概説) 第3回: お伽草子「道成寺縁起」と絵解き(概説と鑑賞) 第4回: 能「道成寺」(概説) 第5回: 能「道成寺」(鑑賞) 第6回: 歌舞伎「京鹿子娘道成寺」(概説と鑑賞) 第7回: お伽草子「かなわ」(概説) 第8回: 能「鉄輪」(概説) 第9回: 能「鉄輪」(鑑賞) 第10回: 能「葵上」(概説) 第11回: 能「葵上」(鑑賞) 第12回: 能「黒塚」(概説) 第13回: 能「黒塚」(鑑賞) 第14回: 歌舞伎「黒塚」(概説と鑑賞) 第15回: まとめとテスト |
| 授業外での学修 | 事前に配布される資料を読んだうえで、講義に臨むようにすること。疑問点や質問事項について、図書館等を利用して調べ学習をする。 |
| 評価方法 | 学修態度(20%)、鑑賞コメントシート(30%)、小レポート(20%)、試験(30%) |
| 評価基準 | AA) 優れた学修態度および講義内容を理解し独自の観点を持ったコメントシート、かつ優れたレポートと試験成績で、作品理解に特に優れている。 A) 良好な学修態度および講義内容を理解したコメントシート、かつ良好なレポートと試験成績で、作品読解にも優れている。 B) 学修態度、鑑賞コメントシート、レポート、試験成績のいずれかが劣っていて、作品読解や知識の獲得にやや不足があるものの、講義内容の基礎的な理解が認められる。 C) 消極的な学修態度や鑑賞コメントシート、最低限のレポートと試験成績などで、作品読解や知識の獲得に不足があるが、講義内容の最低限の理解が認められる。 D) 問題のある学修態度や鑑賞コメントシート、基準に満たないレポートと試験成績などで、講義内容の理解が不十分である。 |
| テキスト | 授業時に資料を配布する。 |
| 参考書 | 授業時に適宜紹介する。 |
| 受講者へのメッセージ | 授業内で取り上げる作品や順序は、変更することがある。 |

| | | | | | |
|-----|-----|-----------|---------------|----------|--------|
| 分類① | 分類② | 授業コード | 教員所属 | 教員コード | 教員名 |
| L | L01 | L01C02401 | 英米語英米文学科 (L2) | Z0000860 | 芦田川 祐子 |

| | | | | | |
|--------|----------|------------------|-----------------------------|----|---|
| 科目名 | 児童文学2 | 学年 | 1 | 単位 | 2 |
| サブタイトル | 散文物語の多様性 | 研究室 | 3706 | | |
| 教員名 | 芦田川 祐子 | メールアドレス(その他連絡方法) | ashy@koshigaya.bunkyo.ac.jp | | |

| | |
|------------|--|
| 授業概要 | 児童文学の中でも有名作品の多い英語圏の散文物語を中心に、作品の背景を紹介し、子ども像などのテーマを分析しながら、テキストの読み方を考え、散文物語に関する基本知識と自分なりの読解の指針を身につけることを目標とする。ナンセンス文学、学校物語、家庭物語、冒険小説、少女小説、孤児物語、ファンタジーなどのジャンルの特色と、テキストが相互に関連しているさまを、代表作を読み、映像版も鑑賞しながら学ぶ。 |
| 到達目標 | 英語圏の散文物語のジャンルや代表作について知り、自分なりの読解の指針を身につける。 |
| 授業計画 | 第1回: 不思議／鏡の国のアリス 第2回: トム・ブラウンの学校生活 第3回: 若草物語 第4回: 宝島 第5回: 赤毛のアン 第6回: 秘密の花園 第7回: ピーター・パン 第8回: 星の王子さま 第9回: ホビットの冒険 第10回: ナルニア国物語 第11回: トムは真夜中の庭で 第12回: ぼくと(ジョージ) 第13回: はてしない物語 第14回: 魔法使い、ハウルと火の悪魔 第15回: ハリー・ポッターと賢者の石 |
| 授業外での学修 | 授業での配付物を読み返すとともに、取り上げられた作品の全体を読むこと。 |
| 評価方法 | 学修態度や提出物 30%、期末試験 70%で評価する。 |
| 評価基準 | AA: 授業に積極的な態度で参加し、課題への取り組みが特に優れていて、児童文学の散文物語への深い理解が認められる。 A: 授業に積極的な態度で参加し、課題への取り組みが優れていて、児童文学の散文物語への理解が十分に認められる。 B: 学修態度に問題がなく、課題への取り組みに大きな難点がなく、児童文学の散文物語へのある程度の理解が認められる。 C: 学修態度が消極的で、課題への取り組みにやや不足があるが、児童文学の散文物語への最低限の理解が認められる。 D: 学修態度に問題がある、または課題への取り組みに大きな難点があり、児童文学の散文物語への理解が認められない。 |
| テキスト | 資料を配付する。 |
| 参考書 | 授業中に指示する。 |
| 受講者へのメッセージ | 「子どもの文学」だから易しいとは限りません。読むことが好きな人、多様なテキストと真剣に向き合ってみたい人の参加を歓迎します。 |